

9. 新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴うセンター事業の状況について

2020年1月に国内初の新型コロナウイルスの感染者が発表されて以来、少しずつ私たちの活動にも影響が出始め、海外体験学習プログラムのアメリカ合衆国とインド共和国のプログラムが直前で中止になるなど、センター事業にも大きく影響がありました。ここでは、2020年2月～3月にかけて予定されていたセンター事業にこの新型コロナウイルスの流行がどのように影響したのか、大学の動きと照らし合わせながら、センターとしてどのように判断し、実施または中止の判断を行ったのかをまとめました。

	事業名	参加人数	実施有無	センターの対応	海外、国、大学の動き
海外体験学習プログラム	「台湾の自然・文化体験エコツアー」	4名	実施	外務省ホームページで台湾の危険レベルを確認（レベル1）、プログラム実施団体、旅行会社とも相談のうえ、実施はできると判断し、下記の通り対応。 ①出発前の感染症予防策を学生に徹底する。 ②プログラム中には、台湾の実情にあわせた感染症対策を団体の指示のもと行う。 ③体験プログラムの一部変更。	1月31日（金） 【国】外務省海外安全情報において中国全土が危険レベル2（不要不急の渡航はやめてください）に引き上げられた。 【大学】危機対策本部が設置された。
	実施期間：2月22日（土）～27日（木）				
	活動場所：台湾				
	「全米一住みたいまちポートランドの持続的なまちづくり」	6名	中止	2月25日に米国での活動ができないと判断し中止を決定し、下記の通り対応。 ①キャンセル料の学生負担はなし。 ②国内、海外、特にアメリカの状況を学生に伝え、中止を個別に連絡。 ③後日、センターより学生宛てに「海外体験学習プログラムに参加を予定していた学生のみなさんへ（中止決定のお知らせ）を郵送。	2月22日（土） 【米国】米国土務省が日本への渡航警戒情報を「レベル2」（渡航にあたり注意を喚起する）にあげた。
	実施期間：3月1日（日）～8日（日）				
	活動場所：アメリカ合衆国・ポートランド				
国内体験学習プログラム	「インドで学ぶSDGs～インド農村の持続可能な取組み～」	4名	中止	2月5日大学危機対策本部の方針により、経由地を香港からタイに変更した。 2月26日にタイでの乗り継ぎが困難と判断し中止を決定し、下記の通り対応。 ①キャンセル料の学生負担はなし。 ②国内、海外、特にタイ・インドの状況を学生に伝え、中止を個別に連絡。 ③後日、センターより学生宛てに「海外体験学習プログラムに参加を予定していた学生のみなさんへ（中止決定のお知らせ）を郵送。	2月23日（日） 【タイ】経由地であったタイ保健省が日本を含む感染拡大地域からの入国者に対して検疫を強化することを発表した。
	実施期間：3月1日（日）～10日（火）				
	活動場所：インド共和国				
	福島スタディツアー～福島を生きる人々の「言葉」を聴き、そして「自分」を見つめる～	14名	実施	国内での感染事例が出始めた頃であったが、従来より準備していたインフルエンザ等の感染予防対策が有効であること、比較的少人数（学生15名、引率2名）であることより、感染予防に十分注意しながら実施出来ると判断し、下記の通り対応。 ①風邪症状があった学生は、本人の健康状態と意向を確認して参加中止を決め、参加費用は返金。 ②感染対策の強化として、移動の車中にはクレベリンを配置、常に除菌スプレー、アルコールジェル及びウェットティッシュを装備し、手洗いの励行、マスク着用を促す。 ③参加学生の健康状態を出発前・後にLINE等で確認。 ④高齢者サロンのとの交流会を中止にし、別プログラムに変更。	2月19日（水） 【大学】危機対策本部より、国内での感染拡大が懸念されている状況を踏まえ、2月25日から4月末の期間で大学で開催する各種イベントについて、「所要時間」「実施規模（参加人数）」「飲食の有無」などの情報収集が実施される。30名以上で集まることは自粛要請。
	実施期間：2月16日（日）～20日（木）				
	活動場所：福島県・福島市、南相馬市、郡山市、浪江町、富岡町				

国内体験学習プログラム	近江八幡スタディツアー ～ボードレスなまちづくり～	14名	実施	国内での感染事例が出始め、感染者数が増えつつあったが、活動地域が瀬田キャンパス所在地の滋賀県であること、比較的少人数（学生15名、引率1名）であり、感染予防に十分注意しながら実施出来ると判断し、下記の通り対応。 ①1名の学生のキャンセル申し出があり、キャンセル受付け、参加費用は返金。 ②感染対策の強化として、移動の車中にはクレベリンを配置、常に除菌スプレー、アルコールジェル及びウエットティッシュを装備し、手洗いの励行、マスク着用、検温実施等。 ③実施中に大学からの中止の指示があれば、途中で中止する可能性があることを確認。 ④受入れ団体に予定通りの受入れが可能か確認。高齢者施設の見学は中止し、別プログラムに変更。 ⑤参加学生の健康状態を出発前・後にLINE等で確認。	2月27日 (木)	【国】小中学校の臨時休校要請が出される。 【大学】多人数（30人目安）が集まる会合（ゼミ合宿、研究会、課外活動など）について、実施責任者において自粛（中止、延期、規模縮小）を検討するよう要請。
	実施期間： 2月25日（火）～28日（金）				2月28日 (金)	
	活動場所： 滋賀県近江八幡市・甲賀市					
	福島スタディツアー 事後学習会	14名	実施	人数が30名に満たないことから、感染予防に十分注意しながら実施出来ると判断し、下記の通り対応。 ①事前に、感染不安、体調不安のある人は休むように連絡 ②入室時にアルコール消毒 ③マスク着用を必須 ④換気の徹底 ⑤座席の間隔をあける		
	実施期間：3月9日（月）					
	活動場所：深草キャンパス					
東日本	近江八幡スタディツアー 事後学習会	13名	実施	人数が30名に満たないことから、感染予防に十分注意しながら実施出来ると判断し、下記の通り対応。 ①事前に、感染不安、体調不安のある人は休むように連絡 ②入室時にアルコール消毒 ③マスク着用を必須 ④換気の徹底 ⑤座席の間隔をあける		
	実施期間：3月11日（水）					
	活動場所：瀬田キャンパス					
東日本	東日本大震災追悼法要での東日本大震災でのボランティア活動発表及び、震災に関する展示	3名 (発表)	実施	発表は、法要後の30分程度であり、開催場所も密な空間にならない十分な広さの場所であるため、感染予防に十分注意しながら参加した。また、展示場所は、常に解放されている空間であり、密な空間になることがないと判断した。		
	実施日：深草3月4日（水） 瀬田3月6日（金）					
	深草：顕真館 瀬田：樹心館					
学生スタッフの活動	学生スタッフ企画 「防災・減災そなえパークの日」へのブース出展	26名	中止	イベント主催者より中止決定の連絡があり、下記の通り対応した。 ①2月26日イベント主催者である、びわこ文化公園より、新型コロナウイルス感染拡大の状況に鑑み、中止するという連絡を受けた。 ②中止の連絡を受けて、参加予定だった一般学生、学生スタッフには、LINEやメールで中止の連絡をした。 ③準備・製作してきた展示物は、龍谷祭などで展示を行うということをオンラインミーティングで決めた。		
	実施期間：3月8日（日） ※3月6日に事前交流会					
	活動場所： 滋賀県営都市公園びわこ文化公園					

学生スタッフの活動	各種学生スタッフのミーティング			この時期は、春合宿、オリエンテーション合宿、新歓活動、卒業生送別会などのためのミーティングが予定されていた。 不要不急なミーティングを実施しないように呼びかけ、実施する場合は窓を開放して換気、手指の消毒を促し、マスクの着用を励行。(持っていない学生には配布)	3月2日 (月)	【大学】 不要不急のイベントの自粛、濃厚接触の機会を減らすため、課外活動(合宿など)は原則中止とすることが決定される。
	実施期間: 2月中旬～3月末					
	活動場所: 瀬田・深草各キャンパス			※3月末には、構内に学生が原則として立ち入り禁止となり、ミーティングはオンラインに切り替わる。	3月29日 (日)	【京都市】 感染拡大防止に向けた学生への緊急要請が出される。
	春合宿					
	実施期間: 瀬田:3月9日(月)～10日(火) 深草:3月18日(水)～19日(木)	各 20名 前後	中止	準備のためのミーティングは、少人数であること、換気等と手指の消毒を徹底しながら実施可能としていた。 2月28日に学生スタッフに中止を要請し、了承。事態が収束したら形を変えて実施を検討する。		
	活動場所: 近江希望が丘ユースホステル					
センターの動き	卒業生送別会					
	実施期間: 深草3月10日(火) 瀬田3月15日(日)	各 40名 前後	中止	瀬田・深草共に、企画していたメンバーと相談し、中止を決めた。		
	活動場所: 京都及び大津市内					
	卒業生を送る会(学内にて)					
	実施期間: 深草3月12日(木) 瀬田3月13日(金)	各 40名 前後		卒業式自体は中止となったが、希望する学生が来室し、後輩から卒業生への記念品プレゼントや写真撮影を短時間で実施することを了承した。 感染予防のため、常時窓を全開にし、換気と手指の消毒、マスク着用を徹底した。	2月28日 (土)	【大学】 卒業式の中止が決定される。
	活動場所: 瀬田・深草センター					
センターの動き	「新型コロナウイルス感染拡大に伴うボランティア活動についての考え方 ～ボランティア活動を考えている学生・教職員の皆さまへ～」をセンターHPに掲載			ボランティア募集が次々と中止になり、センター事業も中止になっている状況であったが、「こんな時期だからこそ」自分に何かできないか」と考える学生、教職員の思いを受け止めつつ、実際、いつから、どのようなことができるのかを模索するための相談窓口が必要だと考えたため、センターHPに掲載した。	3月12日 (木)	【大学】 入学式及び、4月1日(水)～4月6日(月)に予定していた新入生勧誘活動は中止が決定される。
	実施日: 3月24日(火)					
	センターホームページで発表					
	3月30日(月)、課外活動は全面的に中止となり、原則学生の大学入構が禁止となる。				3月30日 (月) 4月6日 (月) 4月7日 (火)	【大学】 教室での授業開始予定日の前日まで、課外活動を中止し、これに伴い、全課外活動施設の閉館、スクールバスの運行休止を決定。 【大学】 2020年度第1学期(前期)の授業を全てオンライン授業実施することが決定された。 【国】「緊急事態宣言」が発令される。 【大学】「緊急事態宣言」の終了日まで全キャンパスへの入構が原則禁止となる。(課外活動の中止の措置等も「緊急事態宣言」の終了日まで継続)